

開催主旨

平成28年4月に施行される「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」について、地方公共団体と連携し、学識経験者、障害当事者、事業者等によるパネルディスカッション等を通じて、地域の障害のある人や関係者の意見を広く聴取し、障害者差別解消法の円滑な施行を目指すとともに、各地域における取組の促進と気運の醸成を図ることを目的としています。

プログラム

9:30 開会 主催者・開催地代表者挨拶

主催者挨拶 内閣府
開催地挨拶 香川県

9:40 基調講演 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律と基本方針について」

講演者 野澤 和弘 氏（毎日新聞社論説委員、障害者政策委員会委員、
障害者差別解消支援地域協議会の在り方検討会会長）

10:30 （休憩）

10:50 パネルディスカッション

コーディネーター 野澤 和弘 氏（毎日新聞社論説委員、障害者政策委員会委員、
障害者差別解消支援地域協議会の在り方検討会会長）

パネリスト 尾上 浩二（内閣府障害者制度改革担当室政策企画調査官）
西谷 清美 氏（四国学院大学教授、香川県障害者施策推進協議会会長）
毛利 公一 氏（全国脊髄損傷者連合会香川県支部長、社会福祉法人ラーフ理事長）

12:30 閉会

講演者等略歴



野澤 和弘（のざわ かずひろ）

毎日新聞社論説委員、障害者政策委員会委員、障害者差別解消支援地域協議会の在り方検討会会長

元千葉県障害者差別をなくす研究会座長、障害者政策委員会委員、障害者差別解消支援地域協議会の在り方検討会会長、社会保障審議会障害者部会委員、植草大学客員教授。1983年毎日新聞社入社。津支局、中部報道局、東京社会部、薬害エイズ取材班、児童虐待取材班など。科学環境部副部長、社会部副部長を経て、2007年から夕刊編集部長、2009年から毎日新聞社論説委員。

尾上 浩二（おのうえ こうじ）

内閣府障害者制度改革担当室政策企画調査官

1960年大阪に生まれる。小学校を養護学校、施設で過ごした後、普通中学・高校へ進む。1978年大阪市立大学に入学後、障害者問題のサークル活動をきっかけに、自立生活運動に取り組み始める。DPI（障害者インターナショナル）日本会議事務局長、障害者政策委員等を歴任。

西谷 清美（にしたに きよみ）

四国学院大学教授、香川県障害者施策推進協議会会長

2004年に現職となるまでの22年間に精神科ソーシャルワーカーとして活動する。1989年頃より精神障害者共同作業所開設運動に参加、さらに1992年頃より一般住宅を活用した援助付き住宅の開発を手掛ける。その後、地域生活支援センターの施設長を経て現職となり、地域における精神保健福祉実践の方法と精神障害者福祉政策に関する研究を行っている。著書に「精神障害者地域生活支援の体系と方法」（共著）中央法規出版、「精神障害者社会復帰施設ハンドブック」（共著）中央法規出版などがある。2006年に特定非営利活動法人(NPO)サヤを設立し理事長に就任、また2006年度より香川県教育委員会高校教育課スクールソーシャルワーカーとして活動中。

毛利 公一（もうり こういち）

全国脊髄損傷者連合会香川県支部長、社会福祉法人ラーフ理事長

2000年早稲田大学人間科学部スポーツ科学科入学、2004年アメリカ・カリフォルニア州語学学校入学、3ヵ月後友人たちと初めて行ったビーチで大きな波に打たれ受傷（C3頸髄損傷）、2005年早稲田大学卒業、2007年講演活動を始める、2008年NPO法人ラーフ設立、2009年日本福祉大学福祉経営学部医療・福祉マネジメント学科入学、2013年社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験合格、日本福祉大学卒業、2015年社会福祉法人ラーフ設立。公益社団法人日本青年会議所の第28回人間力大賞準グランプリ、全国知事会会長奨励賞などを受賞。

アンケート
のお願い

本日まで参加いただいた皆様に、アンケートのご協力をお願いしております。お帰りの際に、出口または受付に
おりますスタッフまでお渡しください。